

<労農記者クラブ扱い>

大阪労働局発表
平成25年5月17日(金)

【照会先】
大阪労働局職業安定部職業安定課
(直通電話)06(4790)6302

報道関係者 各位

新規学校卒業予定者の就職支援の取組結果について

「未内定就活生への集中支援2013」により
未内定の学生・生徒約2,900人の就職が決定！

大阪労働局では、新規学校卒業予定者の厳しい就職環境を踏まえ、大阪府内のハローワーク及び大阪新卒応援ハローワークで「未内定就活生への集中支援2013」に取り組みました。その結果、着実な成果を上げましたので、その取組と実績を発表いたします。

大阪労働局をはじめ大阪府内のハローワーク及び大阪新卒応援ハローワークでは、新規学校卒業予定者の厳しい就職環境（※1）を踏まえ、将来ある新卒者が就職をあきらめ、安易にフリーターとなって労働市場に滞留しないために、また、未内定の学生・生徒が1人でも多く卒業までに就職できるよう、集中的に就職支援を行いました。

平成25年1月から3月末までを「未内定就活生への集中支援2013」とし、学校との連携及び個別支援の徹底等の支援により、1月から3月末で未内定の学生・生徒2,864人が就職するなど着実な成果をあげており、既卒者を含めたジョブサポーターの支援による就職者数3,861人は、年々増加しております。（※別添）

卒業後も就職活動を続ける未就職卒業者に対しても、引き続きジョブサポーターによる集中的な個別支援を実施し、1日でも早い就職実現に向け、全力を尽くします。

※1 新規学校卒業予定者の就職環境

厚生労働省は、5月17日、平成24年度新規学校卒業者の就職状況等を発表しました。

近畿における新規大学卒業者の就職率（平成25年4月1日現在）は93.2%（前年同期差0.2ポイント増）、大阪の新規高校卒業者の就職内定率（平成25年3月末現在）は98.5%（前年同期差0.8ポイント増）という結果になりました。

2013年
1月～3月

未内定就活生への集中支援2013の取組状況

新卒者の就職環境は改善傾向にあるものの、依然として厳しい状況です。大阪労働局では、将来ある新卒者が就職をあきらめ、安易にフリーターとなってしまわないために、また、未内定の学生・生徒が1人でも多く卒業までに就職できるように、平成25年1月から3月末までを集中支援期間とし、「未内定就活生への集中支援2013」を実施しました。

◎ジョブサポーターによるきめ細かな支援

①学校と連携し、未内定者を把握

一人でも多くの未内定者をハローワークの支援対象とし、「就職をあきらめさせない」ために、学校の協力・連携の下、未内定者をハローワークへ誘導。

②担当者制の個別支援

応募先の選定や就職活動の進め方の相談、求人情報の提供、エントリーシートや履歴書などの作成相談、面接指導。

③学校担当者制による、出張相談・就職支援セミナーなど学校のニーズに合わせた支援

大学・短大に専用の相談スペースを設け、「恒常的出張相談」を実施。

(平成24年度は14校で実施)

④新卒者・既卒者向けの求人開拓

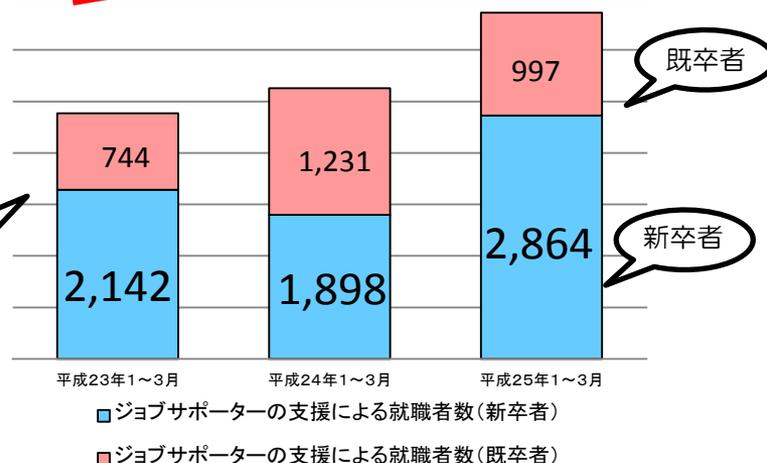
⑤各種ガイダンス・セミナーなどの実施

右肩上がりで上昇中！

※ジョブサポーターは、大阪府内のハローワーク、大阪新卒応援ハローワークを中心に配置しており、中学・高校・大学等の新規学校卒業予定者や既卒者の就職支援をしています。

ジョブサポーターの支援により、**3,861人(既卒者含む)が就職決定しました。**

ジョブサポーターの支援による就職者数は、毎年上昇中！



◎ジョブサポーターの支援を通じて就職に結びついた好事例

事例1

卒業直前の2月半ばに初めてハローワークへ来所。就活のため、意図的に留年しようと考えているとの相談。

ジョブサポーターからは、一浪していることもあり、卒業するまでに就職を目指した方がいいのではないかと提案。そうすると、少し迷っていたようだが、留年を考えずに卒業までに内定を得るという目標を立てることとした。

その後目標は達成できなかったが、就職先の条件をあまり落とさずに夏ごろまでに就職すると再度、目標を立て直した。内定辞退者が出て補充募集を行っていた求人企業をジョブサポーターが提案して応募、その後も週1回ペースでハローワークで模擬面接を行うなど、就職活動を続けた結果、内定を得た。

事例2

大阪から北陸の大学院へ入学。卒業年次になってから就職を大阪と決め活動していたが、学内のキャリアセンターでは思うような仕事が見つけれず、また、学業もあるため大阪での就活には限界があり、未就職のまま卒業。

大阪に戻り、ハローワークを利用。積極的に応募するが、採用が得られない状況が続いた。

本人と一緒に何が原因か検討したところ、「第一印象がよくないのでは」と分析。ジョブサポーターと共に苦手な部分を洗い出し、面接の受け方の練習をしたところ、すぐに内定を得ることができた。

事例3

4回生の7月に大学内の合同説明会にハローワークの相談窓口を設置し、その場で就職登録した。本人は、主に求人サイトを使って就活しているが、最終面接まではいくものの、いずれも不合格となり、ショックを受けている様子だった。

12月に入り、本人から何の音沙汰もないためジョブサポーターから電話連絡したところ、まだ未内定であったため、来所を勧奨し個別相談を行った。

3月に受けた会社から不採用通知が届き、両親にも厳しく言われて落ち込んでいた。卒業後は成績証明書も有料となるため、活動自体に余裕がなくなってきたと相談に来所。追い詰められ、投げやりな様子となっていたため、本人の長所を引き出し、就職意欲を呼び起こした結果、内定を得ることができた。



(大阪新卒応援ハローワークでの相談風景)

◎新卒者と中堅・中小企業とのマッチング促進

就職面接会や求人説明会を開催し、**新卒者と中堅・中小企業とのマッチングを促進**しました。

(大阪労働局主催)

◆フレッシュ就職フェア2012Ⅱ <2月>

※大学生等対象の就職面接会

参加企業25社、求人数86人、参加学生等497人

◆第2回平成25年3月高等学校卒業予定者合同求人説明会 <2月>

※高校生対象の就職面接会

参加企業23社、求人数133人、参加生徒231人

《参加生徒の声》

詳しい説明を聞くことが出来てよかったです。
色んな分野の話をきけてよかったです。

(大阪新卒応援ハローワーク主催)

・レギュラーマッチングブース <1~3月随時>

大阪新卒応援ハローワークでは、新卒者等と正社員募集企業との出会いのブース(レギュラーマッチングブース)を設置し、就職面接会を開催して、中堅・中小企業とのマッチングを促進しています。

平成25年1月~平成25年3月に63回開催、参加企業54社 参加学生等972人

※その他のハローワークでも、新卒者・既卒者を対象にした就職面接会等を開催しました。

- ・就職面接会~未経験から育てます~ <2月> 参加企業22社 参加学生等263名
(大阪新卒応援ハローワーク・大阪キャリアアップハローワーク・大阪外国人雇用サービスセンター主催)
- ・わかもの就職応援フェア <3月> 参加企業25社 参加者214人
(あべの・わかものハローワーク主催)
- ・高校生対象求人説明会の開催 <1~3月随時> 参加企業18社 参加生徒28人
(府内ハローワーク主催)

3月末時点で未内定の方についても、4~6月の期間を「未就職卒業者への集中支援2013」とし、**継続してジョブサポーターによる就職支援を実施しています。**